

平成13年第3回定例会の日程

9月6日	本会議	会期の決定、行政報告、諸般の報告、設置・選任、議案上程、請願上程
7日	本会議	(一般質問)
17日	本会議	(一般質問、議案上程、請願上程)
18日	本会議	(一般質問、議案上程、請願上程)
20日	常任委員会	企画総務委員会 生活文教委員会
21日	常任委員会	福祉保健委員会 まちづくり建設委員会
25日	一般会計決算特別委員会	
27日	特別会計決算特別委員会	
28日	特別委員会	
10月1日	本会議	(審査報告、取り下げ、議案上程)
3日	本会議	(審査報告、取り下げ、議案上程)

平成12年度決算を認定

歳入は2.3%、歳出では2.4%が前年度より減

平成13年
第3回定例会

日野の秋 点描



▲合唱祭の練習をする三中の生徒たち
(日野中央公園)

市内芸術家の作品を中心に展示された「かたち・ふれあい」展(実践女子大学)
▲最近めっきり少なくなったカワラノギク(多摩川河川敷)
▲移り行く季節を写生する女性(日野中央公園)



平成13年第3回定例会は、9月6日から10月3日までの28日間にわたり開かれ、市長提出議案23件、議員提出議案5件、請願・陳情7件が審議されました(審議結果は6面に掲載)。今定例会では、一般会計決算及び特別会計決算の2つの特別委員会が設置され、平成12年度決算の審査が行われました。慎重審査の結果、一般会計決算及び国民健康保険特別会計ほか2つの特別会計決算については賛否が分かれましたが、採決の結果、挙手多数ですべて認定されました。

一致で原案のとおり可決・同意されましたが、(仮称)日野市立総合体育館の建設を目的とする「(仮称)日野市立総合体育館建設基金条例の制定」など4議案については賛否が分かれ、採決を行った結果、挙手多数で原案のとおり可決されました。議員提出議案については、9月18日に「アメリカ合衆国における同時多発テロ行為を糾弾する決議」が提案され、全会一致で可決されました。また、ほか4件についても原案のとおり可決され、意見書については関係機関に送付されました。8日間にわたり行われた一般質問では、23名の議員から48件の質問がありました。

主な議案と内容

◎(仮称)日野市立総合体育館建設基金条例の制定

この議案は、(仮称)日野市立総合体育館の建設資金に充てるため、(仮称)日野市立総合体育館建設基金を設置するものです。

この議案は、平成13年度一般会計予算の歳入・歳出にそれぞれ6億1千584万4千円を追加し、総額を43億2千944万6千円とするものです。なお、今回の補正は都の制度改正に伴い早急な対応を要する認証保育所事業や、緊急性の高い非常通報体制整備事業などを中心に行われました。

◎平成13年度日野市一般会計補正予算(第4号)

この議案は、平成13年度一般会計予算の歳入・歳出にそれぞれ6億1千584万4千円を追加し、総額を43億2千944万6千円とするものです。

この議案は、日3・4・14号線橋梁(一番橋)上部工(その2)工事請負契約の締結

◎(仮称)日野市立総合体育館建設基金条例の制定

この議案は、(仮称)日野市立総合体育館の建設資金に充てるため、(仮称)日野市立総合体育館建設基金を設置するものです。

◎(仮称)日野市立総合体育館建設基金条例の制定

この議案は、(仮称)日野市立総合体育館の建設資金に充てるため、(仮称)日野市立総合体育館建設基金を設置するものです。

◎(仮称)日野市立総合体育館建設基金条例の制定

この議案は、(仮称)日野市立総合体育館の建設資金に充てるため、(仮称)日野市立総合体育館建設基金を設置するものです。

◎(仮称)日野市立総合体育館建設基金条例の制定

この議案は、(仮称)日野市立総合体育館の建設資金に充てるため、(仮称)日野市立総合体育館建設基金を設置するものです。

◎(仮称)日野市立総合体育館建設基金条例の制定

この議案は、(仮称)日野市立総合体育館の建設資金に充てるため、(仮称)日野市立総合体育館建設基金を設置するものです。

◎(仮称)日野市立総合体育館建設基金条例の制定

この議案は、(仮称)日野市立総合体育館の建設資金に充てるため、(仮称)日野市立総合体育館建設基金を設置するものです。

◎(仮称)日野市立総合体育館建設基金条例の制定

この議案は、(仮称)日野市立総合体育館の建設資金に充てるため、(仮称)日野市立総合体育館建設基金を設置するものです。

◎(仮称)日野市立総合体育館建設基金条例の制定

この議案は、(仮称)日野市立総合体育館の建設資金に充てるため、(仮称)日野市立総合体育館建設基金を設置するものです。

◎(仮称)日野市立総合体育館建設基金条例の制定

この議案は、(仮称)日野市立総合体育館の建設資金に充てるため、(仮称)日野市立総合体育館建設基金を設置するものです。

◎(仮称)日野市立総合体育館建設基金条例の制定

この議案は、(仮称)日野市立総合体育館の建設資金に充てるため、(仮称)日野市立総合体育館建設基金を設置するものです。

◎(仮称)日野市立総合体育館建設基金条例の制定

この議案は、(仮称)日野市立総合体育館の建設資金に充てるため、(仮称)日野市立総合体育館建設基金を設置するものです。

◎(仮称)日野市立総合体育館建設基金条例の制定

この議案は、(仮称)日野市立総合体育館の建設資金に充てるため、(仮称)日野市立総合体育館建設基金を設置するものです。

◎(仮称)日野市立総合体育館建設基金条例の制定

この議案は、(仮称)日野市立総合体育館の建設資金に充てるため、(仮称)日野市立総合体育館建設基金を設置するものです。

◎(仮称)日野市立総合体育館建設基金条例の制定

この議案は、(仮称)日野市立総合体育館の建設資金に充てるため、(仮称)日野市立総合体育館建設基金を設置するものです。

人権擁護委員の推薦に同意

現在、法務大臣より委嘱されている人権擁護委員の任期が平成13年12月31日をもって満了となるため、今定例会において、次の方々が委員候補者として推薦され、同意されました。

平 清太郎 (住所) 新井863番地の64
千 葉 憲雄 (住所) 南平九丁目24番地の5
片岡 千壽子 (住所) 平山三丁目21番地の10
平澤 千鶴子 (住所) 下田14番地の1

区 分		歳 入	対前年度比	歳 出	対前年度比
一般会計		482億3,641万円	△2.3%	473億4,704万円	△2.4%
特別会計		411億8,982万円	15.1%	405億9,887万円	15.0%
内 訳	国民健康保険	90億2,599万円	7.4%	87億8,936万円	6.8%
	土地区画整理	32億7,675万円	△3.2%	32億 534万円	△3.3%
	下水道	60億6,698万円	△6.7%	57億5,701万円	△7.0%
	受託水道	20億1,491万円	△5.8%	20億1,491万円	△5.8%
	老人保健	96億5,852万円	△2.1%	96億2,845万円	△2.4%
	介護保険	35億7,914万円	皆増	35億6,513万円	皆増
	市立総合病院	75億6,753万円	38.9%	76億3,867万円	38.6%
合 計		894億2,623万円	5.0%	879億4,591万円	4.9%

平成12年度決算の審査から

今定例会では、一般会計決算及び特別会計決算の2つの特別委員会が設置され、平成12年度予算が適正に執行されたか、また、財政運営は妥当であったかなどについて審査が行われました。

平成12年度一般会計の歳入決算額は、482億3千641万円、前年度より、11億2千90万円(2.3%)の減となりました。対する歳出決算額は、473億4千704万円、前年度と比較すると11億6千46万円(2.4%)の減となりました。歳入減については、長引く景気低迷による個人所得の落ち込みの影響が大きく、前年に比べ、市税全体で7億70万円の減となったことや、前年度の土地開発基金の廃止に伴う繰入による一時的増がなくなったこと、そして基金依存型の財政運営を改めた結果による繰入金減額などが要因としてあります。

一方、歳出面は、職員の期末勤勉手当や互助会交付金の見直しなどの内部努力や、介護保険導入による扶助費の大幅な減、前年度の地域振興券、少子化関係経費等の減などがその主な要因です。結果、歳入歳出差引金額は8億8千937万円、前年比4.7%の増となりました。

また、平成12年度の7つの特別会計における歳入・歳出の決算額は、別表のとおりです。

一般会計決算

平成12年度一般会計決算特別委員会(委員長・竹ノ上武俊委員、副委員長・田原茂委員)は、9月25日、26日、27日の3日間にわたって開催され、正副委員長のもと、平成12年度一般会計決算について審査が行われました。

委員会では、計上予算に見合うだけの行政効果があつたか、会計経理上の過誤や不適切な支出がなかったか、財産の管理は適正に行われたかなどについて、延べ41名の委員から77件の質疑や行政への意見・提言・指摘がありました。

主な質疑は、次のとおりです。

- 収入未済額、欠納欠損額が多いことについて
 - 保育行政に対する市の姿勢について
 - ごみ改革と市職員の残業について
 - 豊田共同墓地の取り扱いについて
 - 西豊田駅誘致とJR中央線複々線化の展望について
 - 教員による違法な時間内組合活動について
 - 学校へのコンピューター設置について
 - 維持補修費の推移とメンテナンスについて
- 委員会最終日の27日、総括質疑の後に採決を行った結果、平成12年度一般会計決算は、「認定すべきもの」と決しました。

特別会計決算

平成12年度特別会計決算特別委員会(委員長・奥住日出男委員、副委員長・菅原直志委員)は、9月28日に開催され、正副委員長のもと、平成12年度の7つの特別会計決算について審査が行われました。

審査は、国民健康保険、土地区画整理事業、下水道事業、受託水道事業、老人保健、介護保険、市立総合病院事業の各会計ごとに順次行われ、各委員から様々な質疑や行政への意見・提言・指摘がありました。

主な質疑は、次のとおりです。

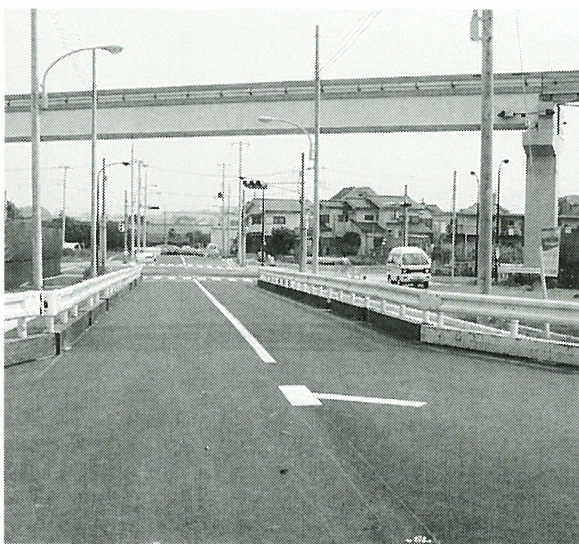
- 保険料滞納者への対策はどのようになっているのか(国民健康保険)
- 組合施行の区画整理事業は全国で赤字が出ているが日野市はどうか(土地区画整理事業)
- 事業規模が縮小した理由は何か(介護保険)

委員会では審査の結果、7会計中4会計が全会一致で国民健康保険、土地区画整理事業、介護保険の3会計は挙手採決により「認定すべきもの」と決しました。



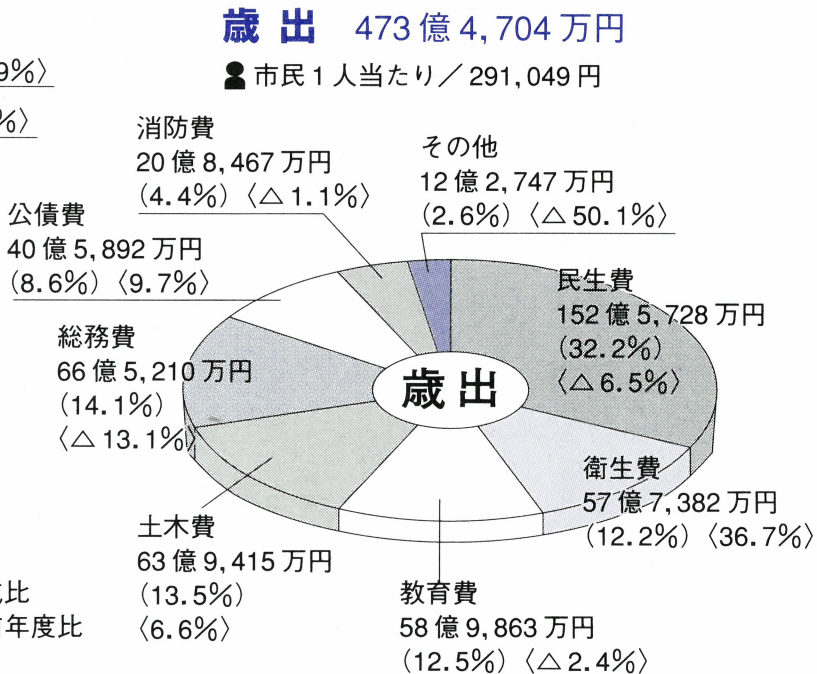
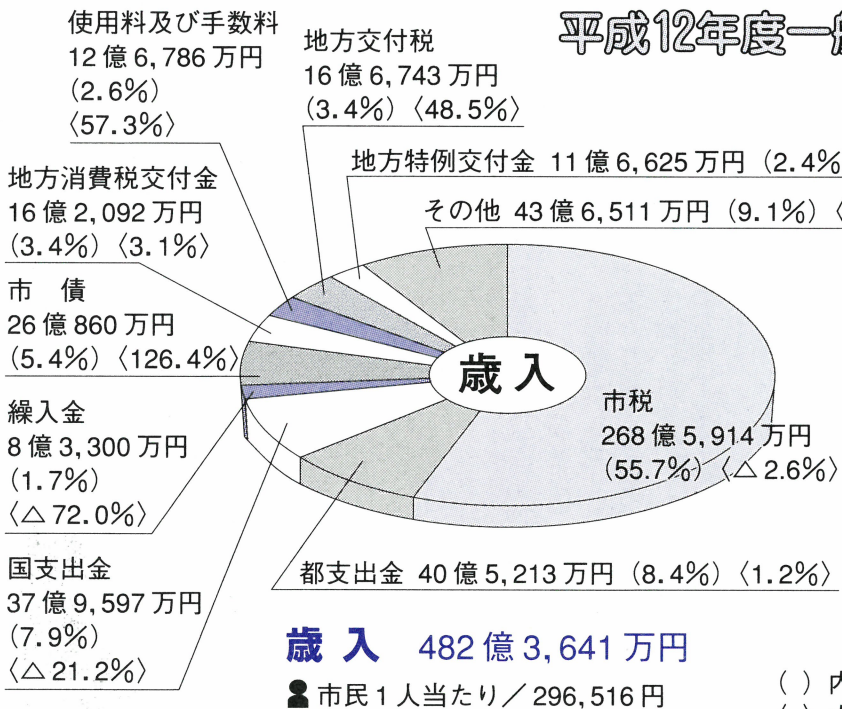
▲生涯学習・コミュニティ活動の拠点、豊田北交流センター

定例会最終日の10月3日、本会議における奥住委員長、菅原副委員長の審査報告に対し、委員会の審査結果同様、3会計については意見が分かれましたが、採決の結果、平成12年度の各特別会計決算は、すべて認定されました。



▲南北交通の利便性が向上した、日野3・4・8号線の開通

平成12年度一般会計決算構成図



平成12年度一般会計決算に対する

各会派の総括意見

平成12年度一般会計決算に対する各会派と無会派の議員の意見表明が、10月3日に本会議場においてありました。ここでは各会派の意見(要旨)を紹介します。

民	成
自	賛
民	成
民	成

基金依存型の財政運営から脱却する
など、財政健全化への努力を評価

私たちは自民クラブは、的確、そして着実に執行された平成12年度決算を高く評価をし、認定の立場から意見を申し上げます。

全体的に見ますと、従来の基金依存型財政運営から脱却し、しかも、健全な財政調整基金への積み立てなど財政運営の努力の跡が見られます。

各事業についてですが、介護保険の導入に当たり、当市では大きな混乱もなく、受け入れ施設も、

日本共産党	市議会	反対
-------	-----	----

市民の痛みの上に図られた市財政のゆとりは、何に充当されるのか

日本共産党市議団を代表して、決算認定に反対する立場で意見を申し上げます。

一般会計決算は、実質収支8億3千746万円の黒字、財政のゆとりを示す指標、経常収支比率は、前年度の97・1%から87・9%に改善されました。この大幅な改善は、

一つは利子割交付金の大幅増という、歳入におけるいわば偶発的な要因と、介護保険実施によって介護サービスに関する経費が、保



元気に遊ぶ日野の子どもたち

りのある施策としての、わかば教室の開設も決算されております。評価したいと思っております。

先日9月30日、ベルリンマラソンで優勝した高橋尚子さんが、次のようにコメントをしています。

「すごいことをしたなんて思わない。ただ目標に向かって何かをする。これは、本当にすばらしいことなんです」と。どうか強い意志のもと、全日野市民の明日のため、この歩みをとめることなく、さらなる一歩前進をお願いしたいと思

おり、市議会としては正を求めなければなりません。

第1に、新都市建設公社と日野市の関係。第2に、新都市建設公社に委託した下水道工事に、河内助役が公文書を使って特定業者を推薦した問題。第3に、入札・契約事務と談合情報への対応です。これら行政の事務執行の原則からの逸脱が放置されるなら、行政は内部から腐敗しかねません。これら、2000年度決算に同意できない理由であります。

以上、2000年度決算に対する日本共産党市議団の意見といたします。

公明党	賛成
-----	----

行財政改革に取り組み、市民生活を守ることが各所に見受けられる決算内容

平成12年度一般会計決算認定の立場から、意見を申し上げます。歳入歳出は、前年度に比べて、18億円強も減という非常に厳しい状況にあります。

その中で、平成10年、11年、12年と、馬場市長は数値目標を決め、具体的な行財政改革に取り組んでいます。繰入金21億円の減は、従来の基金依存型の財政運営を改めてきた結果であると、報告がなされたところです。

民	成
市	賛
民	成
民	成

市民参画による事業推進を評価。市税などの収入未済金には早期対策を要望

事業の適正実施と成果、そして平等に市民が行政の恩恵を受けられているかを中心に審査した結果、市民クラブは一般会計決算を認定すべきものと判断しました。

事業の成果としては、厳しい経済状況の中、市民参画を得て策定された「日野いいプラン2010」、第4次日野市基本構想・基本計画は、日野市が向かう10年先の目標が明示され、大きな成果があったと思います。

清流・ネット	賛成
--------	----

市民の権利を守るオンブズパーソンは、福祉にとどまらず施策全体に反映せよ

清流・ネットを代表しまして、平成12年度一般会計決算認定の立場から、幾つかの問題点の指摘を望とて意見を申し上げます。

まず、全体を通して、これからの施策反映にかかわる実態調査、プランづくりがなされた年だったと思います。特に、総合計画である2010年プランは、市民のかかわりの中でまちづくりを進めていくとする行政の意欲が、市民にも伝わったように思います。

また、そろそろ完成する都市計画マスタープランや男女平等に関する市民意識実態調査、PFI活用調査などにも、今後の実態に合った施策の展開を期待します。

人件費等は最終的には職員の定数管理になりますが、定年退職者不補充を原則に定数削減をし、人件費から他へ財政支出を投入することができるといふ基本枠ができてきていると思います。その中で、退職者の増による退職手当基金の今後のあり方をどうするのか大きな課題であり、心して改革に取り組んでいただきたいと思

ても、行政改革によって一般会計の中の経常経費が5億円程度削減でき、財政の弾力性というものが向上しているなど、財政努力がさ

れ、市民の生活を守ることにつながり出てきている内容になっています。

全般的な内容として、市の財政運営の中で一番大きな特色は、下水道事業が今ピークにかかっていることです。返還についての負担が55億から60億円と、ほかの

進、日野第七小学校の校舎大規模改造・耐震補強工事等、一定の成果が上がったものと評価します。

歳入の市税決算額は、前年比2・6%の減額ですが、その中で市税、分担金及び負担金、そして使用料及び手数料の収入未済額が大きいことが非常に気になる点です。

この収入未済額については、景気の問題などいろいろな事情もあるかとは思いますが、行政の毅然とした態度を強く望みます。

また、ごみの有料化については、ボックス収集の廃止という私どもの長年の要求を実施し、戸別収集の開始のもとに進められてきたことは高く評価します。しかし、需要が増加したペットボトルの回収に関しては、自治体のリサイクルコスト増大を促し、また再生商

品は使い捨て、リサイクルの輪が完結していないという問題もあります。リサイクルに税金がどれだけ使われているのか、現状を提

市町村と比べて大きな負担的な要素があります。

そのような中で、従来の手法ですと苦肉の策として、財政調整基金を取り崩して行ってきたわけですが、それも現在は使い果たしてきている状況です。こういう手法を今、変えてきているところのようですが、しばらくはこの大変な状態が続くかと思

しかし、前市政のように選挙目当ての対策により、財政負担が継続的に伴うことがないようにしていただき、今の方針を堅持して健全な市民へ還元されるよう対策をとっていただきたいと思

で、少しでも少なくする施策を早急に検討すべきだと思います。

歳出決算については、電算管理運営費では、市内LANを始め電算化が進められていますが、ペーパーレス等、電算処理による効果や活用の研究を要望します。

教育費の中では、学校設置のコンピュータのセキュリティ確保、管理体制の構築、私物化の防止等に取り組むとともに、家庭での普及を想定し、保護者への教育と開放等も含めた積極的な検討を進めていただきたいと思

以上、要望項目を含め、市民クラブの意見といたします。

示することが必要だと考えます。

教育の分野では、不登校児童・生徒への施策である、わかば教室についてです。学習面の充実、中学生にとって重要で、せめて高校受験に必要な5科目だけでも重視してほしいと思

消費生活については、ひとりの世帯の高齢者に対しての住宅補修契約にからんだ被害がふえています。ぜひお敬老大会などの際に、被害防止の情報提供をお願いします。

以上、いろいろ指摘をしました。が、今後の予算編成にも反映していただくよう要望申し上げて、認定の意見とさせていただきます。

一

質 問

各定例会では、市政全般について一般質問が行われます。
今定例会では、9月7日から18日までの8日間にわたり行われ、23名の議員から48件の質問があり、行政側の対応をたしました。

馬場 繁夫

(公明党)

だれでもが安心して暮らせる長寿社会にするため、福祉環境整備と財政の健全化を問う

問1 在宅福祉を推進するために地域福祉施策でのコミュニティや生涯学習の位置づけを問う。
答1 (生涯学習部長) 福祉と学習が融合した施設として、各中学校区に予定しているコミュニティセンターが担うと考えます。
問2 地区センターなどの公共施設の総点検と改修を進めよ。

沢田 研二

(市民クラブ)

日野市民の各種選挙での投票状況と投票率アップに向けた選挙管理委員会の取組みについて問う

問1 投票率アップに向けて、どのような取り組みをしているか。
答1 (選挙事務局長) 各小中学校への啓発ポスターの募集、投票所の増設等を行っています。
問2 投票率の途中経過などの情報提供ができないか。
答2 (選挙事務局長) 実現に向けて検討します。

佐瀬 昭二郎

(無党派)

障害者福祉と介護保険について

問1 身体障害者福祉センター「つばき学園」やまはと学級通所者のうち、年齢的に若い人たちに對して介護保険を適用すると制度的に十分な対応ができない。今まで通りの障害福祉対応のリハビリを維持することができないか問う。
答1 (助役、福祉保健部長) 利用者に適応した対応をとりまします。
問2 介護保険の対象者となる障

害者へのサービス提供は、どこが責任をもって対応をしていくのか。
答2 (助役、福祉保健部長) 介護保険・障害福祉等の関係課が連携をはかり対応します。

東京都「東京における自然の保護と回復に関する条例」全面改正と多摩丘陵の緑地・里山の保全について

問 条例の改正に伴い、都の呼びかけで里山連絡会が設立され、緑地・里山の保全について協議することになったが市の対応を問う。
答 (環境共生部長) 積極的に参加し緑地保全の方策を検討します。

菅原 直志

(清流・ネット)

不登校は悪いのか？教育委員会の見解を問う

問1 現在の学校のシステムが、すべての子どもたちの教育を受ける権利を保障していると考ええるか。
答1 (教育長) 現在の法整備の中では、保障されるようになっていくと考えられます。
問2 教育長は現在の学校システムを是とする考えから抜け出しているのか。
答2 (教育長) 学校を非とする

考えはありません。でき得れば、子どもたちが明るく毎日を送れるような学校となるよう願います。

工事契約の透明性を問う。市の業者指名推薦問題に厳格な対応を求む

問 助役が新都市建設公社に對し、下水道工事に伴う業者の受け付けについて公文書を出した、いわゆる業者指名推薦の問題がある。この件について、市の公正入札調査委員会が検討し、市としての見解を出すべきと考えるか、どうか。
答 (助役) 調査委員会の中でも検討していきたいと思ひます。

奥住 日出男

(自民クラブ)

第2次行財政改革の進捗状況について問う

問 推進中である行財政改革の全体計画及び重点項目の進捗状況について問う。
答 (市長、企画部参事) 削減額及び増収額は11年度は21億3千万円、12年度は17億円と概ね計画どおりに進んでいます。全体計画及び重点項目についても、計画どおり進んでいます。市民福祉・市民サービスの向上のためにそれぞれ

の立場で協力し、よりよい方向に努力していきたいと思ひます。

「池田小事件」の教訓について問う

問 学校の安全対策と危機管理問題について問う。
答 (学校教育部長) 登下校時以外には正門は閉め裏門は施錠し、外来者には名札を着用してもらいます。教職員に防犯ブザーを携帯させる等行っているほか、保護者・地域にパトロール等の協力をお願いしました。危機管理体制の充実を図り、地域の協力を得て児童・生徒の安全を確保していきます。

中谷 好幸

(日本共産党市議団)

「勇み足」ではすまされない、河内助役の特定業者推薦問題

問1 市が新都市建設公社に委託した下水道工事について、助役名で送付された公文書は、特定業者を指名競争入札に参加させるよう要請したものではないのか。
答1 (まちづくり推進部長) 通常の条件で、市内業者が参加できるように要望等を行ったもので、今後誤解を招かないよう対応します。
問2 助役名による対外的な公文

書の発送は、市長の権限、代表権を侵害する越権行為ではないのか。
答2 (市長) 法に違反する行為であるとは思っておりません。

小児救急、南部医療施設用地の処分、新市立病院への交通手段をどうするか

問1 新病院開院に伴い、小児救急体制を強化せよ。
答1 (病院事務局長) 関係機関と協議し、進めていきます。
問2 南部医療施設用地の具体的な構想を問う。
答2 (企画部長) 医療、保育等の課題を整理、検討しています。

一ノ瀬 隆

(清流・ネット)

障害者に対する施策をさらに前進させよ

問1 身障高齢者と視覚障害者マッサー師への施策を兼ね備えたマッサーシートの支給確保を。
答1 (福祉保健部長) 現状の維持に努めていきたいと思ひます。
問2 点字ブロック・誘導ブロックの敷設状況はどうなっているか。
答2 (建設部長) 十分とは思っておりません。視覚障害者と意見交換を図り、前向きに進めます。

小山 良悟

(自民クラブ)

可燃ごみ炭化システムの導入を提案する

問 剪定枝や建築廃材等の古い材木を行政が積極的に引き受け、炭化する方法を日野市として打ち出す考えはないか。
答 (市長) 難しい点はたくさんあると思ひますが、鋭意検討し日野市から発信できるように、努力していきたいと思ひます。

を
問 庁舎屋上に風車を備えつけて風力発電をし、自然エネルギーを使っているという意思をあらわす取り組みをしてどうか。
答 (市長) 少しでも実が結べるような方策を考えていきたいと思ひます。

ミニバス南平路線の全便を市立病院経由に―議論のたたき台として小山試案を提示

問 高幡―豊田間の全便を市立病院経由にする案を提案したい。
答 (企画部長) 大いに検討に値する提案だと考えています。

古池 初美

(清流・ネット)

不登校児に対する教育委員会の施策を問う

問1 不登校児に対する現在の施策を問う。
答1 (学校教育部参事) スクールカウンセラーの配置、学校不適応状況調査の実施、適応指導教室(わかば教室)での指導、以上3本を柱に対応しています。
問2 わかば教室へも通っていない不登校児に対して、市はどのように対応をとっていくのか。

答2 (市長、教育長) 囑託者による家庭訪問などで対応します。仮称「男女平等参画条例」を有効なものに！

問1 施策を反映させるために、専門職員の配置、オン・オフ・オン制度の導入の考えを問う。
答1 (企画部長) 制度の導入を検討します。

問2 小・中学校で男女混合名簿が未だ実施されていない所があるようだが、これからの対応を問う。
答2 (学校教育部参事) 教職員と保護者の理解がないと推進ができません。理解に向け努力します。

清水 登志子

(日本共産党市議団)

公団多摩平団地の切り売りは許すな

問1 小泉内閣の進める都市基盤整備公団の見直しについて、市の考えを問う。
答1 (まちづくり推進部長) 現状、特殊法人改革の具体的な内容が明らかでない中、多摩平団地の今後不透明な状況と考えます。
問2 公団民営化という問題に直面し、市長はどう市民の暮らしを守っていくのか。

中学校部活動支援の充実を

問 部活動支援の一環として、外部指導員の人材登録制度を整えるべきと考えるか、どうか。
答 (学校教育部参事) 登録制はいくつかの問題が懸念されるため、スポーツ振興課によるスポーツ指導者の紹介や「ひの21世紀みらい塾」での講師紹介などを積極的に活用していきたいと思ひます。

田原 茂

(公明党)

七生中学相談学級の存続について

問1 七生中学校内にある相談学級のこれからの存続について問う。

答1 (学校教育課長) 相談学級は本来の情緒障害学級に整備する予定で、現在通級中の不登校児童とその保護者に対しては、これからのことについて十分に話し合いを持ち対応します。

問2 不登校児童適応指導教室では、相談学級で行われていたきめ細かい授業ができるのか。

答2 (学校教育課長) 指導員の拡充・学習施設の整備などに力を入れ、対応をしていきます。

日野市でも現行の介護保険制度のルール内での保険料軽減策を導入すべきではないか

問 年収120万円以下の第2段階の世帯について、一定条件のもとに第1段階相当額に軽減することはできないか。

答 (市長、助役、福祉保健部長) 来年度、市民を含めた見直し策定委員会を立ち上げます。十分に議論をし、よりよい方法を探ります。

夏井 明男

(公明党)

日野都市計画

問1 市内環状線及び日野バイパスの整備で期待できることは何か。

答1 (市長、まちづくり推進部長、甲州街道の渋滞緩和や新市立総合病院等への新たなバス路線の開通等が可能になり、市外からの来客も期待できます。安心して歩ける歩道を確保し、近隣自治体にも誇れる道路整備を行っていきます。

問2 多摩平六丁目の浸水対策と日野駅改良について問う。

答2 (まちづくり推進部長) 多摩平団地の建て替え計画にあわせ浸水対策を行います。日野駅についてはホームの拡幅やバリアフリー化への対応等を考えています。

医療的ケアを要する子どもを抱えた保護者の願い

問 市の考えを問う。

答 (福祉保健部長) 家庭内にリフトによる入浴担架の設置を検討しています。家族の負担軽減も課題の一つです。養護学校卒業後の重症心身障害者施設の整備や公的支援は、最優先の課題として考えるべきだと認識しています。

宮沢 清子

(公明党)

日野の豊かさを育む文化芸術の振興を

問1 市民が文化芸術を享受し、参加できる仕組みがでないか。

答1 (生涯学習部長) 生涯学習プラン「さらさら日野人2010学びプラン」に沿って取り組んでまいります。

問2 子どもたちが本物の文化芸術に触れる場の提供はできないか。

答2 (生涯学習部長) 市内在住の芸術家との懇談や作品に触れる機会をふやしたいと考えます。

問3 民間施設等を活用したボックス美術館が開設できないか。

答3 (市長) 展示の場が広がるように努力します。

小・中学校や(幼)児童館などの安全管理は万全か

問 学校等施設の管理、整備については、(即座に)対応されているが、周辺の環境整備が一体とならなければいけない。危険と思われる地域では、登下校時、希望者に防犯ベルを携帯させられないか。

答 (学校教育課長) 学校と十分話し合っています。

出沼 恵美子

(清流・ネット)

一十講習会のその後と、一十政策を問う

問 講習会を終えた方へのフォロー体制と、IT化に伴う情報弱者への対策をどう考えるか。

答 (市長、生涯学習部長) パソコンの初歩的問題に対応できる仕組みをボランティアの協力を得ながらつくっていききたいと思っています。また、レベルアップ講座の実施や障害者・高齢者対象の講習会の開催と併せて、公共施設にパソコンを設置し、基本操作への対応や情報提供ができる方式を考えます。

下田・万願寺地域を中心に生活環境の整備について市の積極的な対応を求める

奥野 倫子

(日本共産党市議団)

問1 下田・万願寺地域の住宅地を通るトラックについての現状認識と解決策を問う。

答1 (建設部長) 地域住民、交通管理者等で検討し、安全なルートを指導していききたいと思います。

問2 東京都流域下水道浅川処理場に隣接する石材工業所の移転計画はどうなっているのか。

介護保険料の減免とサービス提供にかかわる問題、その解決策を問う

問 福祉の責任を果たす自治体として、保険料の独自の減免制度に足る踏み出すべきではないか。

答 (助役) 制度上、法律上の問題等を広く検討し、今後、事業計画の見直しの中で検討する課題と認識しています。

市民が緑をより身近に感じるために具体的な施策の推進を

秋山 薫

(市民クラブ)

問 桜の植樹・コスモスアベニュー・レンゲ畑の復活事業は評価するが、今後の「緑の推進事業」の展開を問う。また、河川敷を利用したバーベキュースペース、サイクリングロードの整備など自然を利用した施設整備はできないか。

答 (市長、環境共生部長) 各事業については、次に分けていくよう努力します。また、市民が緑をより身近に感じるために具体的な施策を検討します。

市民の満足度向上を目指して、「日野市職員接遇マニュアル」の活用を

佐藤 洋二

(無党派)

市役所市民課豊田駅連絡所の市民要望の実現を

問 同連絡所は取扱業務が少なく、市役所の交換便等を利用しての市民サービス向上を要望する。

答 (市長、企画部長) 提言を生かし、鋭意努力します。

市議会本会議に於ける手話通訳について

池田 利恵

(無党派)

市内バス交通の将来ビジョンを問う

問 南西地域の交通整備を優先し生活環境の改善を要望する。

答 (市長) 引き続き努力します。

竹ノ上 武俊

(日本共産党市議団)

公共住宅がある街・公園は公共住宅として充実・発展させるよう政府に要望せよ

問1 日野市における公共住宅がまちづくりで果たしている役割は非常に大きい。公共住宅は、日野市にとって必要と考えるか。

答1 (市長) 絶対必要であると考えます。

問2 市は、公共住宅を国の住宅政策に位置づけるべきと思うか。

江口 和雄

(市民クラブ)

「ごみゼロ社会をめざして」一ごみ改革の検証と今後の対応について

問1 ごみの減量実績とレベルはどうなっているか。

答1 (環境共生部長) 家庭系可燃・不燃ごみあわせて49・9%の減量。排出量は三多摩地域26市中、可燃ではワースト7がベスト2に、不燃ではワースト1がベスト2になりました。

森田 美津雄

(無党派)

児童虐待防止への対応および「子どもの権利条例」の制定について

問1 児童虐待のケースを分析し、課題として見えてきたものを問う。

答1 (学校教育課長) 保護者への支援充実を図るとともに、行政の福祉部門や学校等との結びつきを強化して、虐待の早期発見を促すこととします。

問2 「子どもの権利条例」の作成にあたり、子ども、市民、専門家に意見を求めるか。

地域課題
イ・平山城址公園豊田行ミニバスの一部経路変更
ロ・東・西平山地区の複合文化センター
ハ・滝合地区への公共下水道早期供用開始

問 同連絡所は取扱業務が少なく、市役所の交換便等を利用しての市民サービス向上を要望する。

答 (市長、企画部長) 提言を生かし、鋭意努力します。

市議会本会議に於ける手話通訳について

板垣 正男

(日本共産党市議団)

日野駅のエスカレーター・エレベーター、ホームの風雨よけ設置と改良計画について

問 駅改良計画及び周辺地区の整備について問う。

答 (市長、まちづくり推進部長) まちづくり懇談会を設置し意見、要望を整理しています。市の財政状況等をふまえて、利用しやすい駅の方向性を調査し、J.Rと協議してまいります。

新市民集会所施設建設予定について

問 新市民集会所施設について。

答 (まちづくり推進部長) 高齢者、車いすの方の使用等も考慮した施設を考えています。備品等については関係各部課と調整し対応したいと考えています。

市民参加条例について日野市市民参加の推進に関する要綱の経過をふまえて

問 行政への市民参加について。

答 (企画部長) 市民の参加・連携・協働を確実に実施し市民参加を進めていきます。

「ごみゼロ社会をめざして」一ごみ改革の検証と今後の対応について

問1 ごみの減量実績とレベルはどうなっているか。

答1 (環境共生部長) 家庭系可燃・不燃ごみあわせて49・9%の減量。排出量は三多摩地域26市中、可燃ではワースト7がベスト2に、不燃ではワースト1がベスト2になりました。

問2 次のステップとして何をどのように進めていくのか。

江口 和雄

(市民クラブ)

「ごみゼロ社会をめざして」一ごみ改革の検証と今後の対応について

問1 ごみの減量実績とレベルはどうなっているか。

答1 (環境共生部長) 家庭系可燃・不燃ごみあわせて49・9%の減量。排出量は三多摩地域26市中、可燃ではワースト7がベスト2に、不燃ではワースト1がベスト2になりました。

森田 美津雄

(無党派)

児童虐待防止への対応および「子どもの権利条例」の制定について

問1 児童虐待のケースを分析し、課題として見えてきたものを問う。

答1 (学校教育課長) 保護者への支援充実を図るとともに、行政の福祉部門や学校等との結びつきを強化して、虐待の早期発見を促すこととします。

問2 「子どもの権利条例」の作成にあたり、子ども、市民、専門家に意見を求めるか。

民間住宅への耐震対策など安全な環境づくりを

問1 行政としての支援策について問う。

答1 (まちづくり推進部長) 都と協議し、今後調査研究します。

問2 高層ビルにエレベーター・エスカレーターを設置を促す。

江口 和雄

(市民クラブ)

「ごみゼロ社会をめざして」一ごみ改革の検証と今後の対応について

問1 ごみの減量実績とレベルはどうなっているか。

答1 (環境共生部長) 家庭系可燃・不燃ごみあわせて49・9%の減量。排出量は三多摩地域26市中、可燃ではワースト7がベスト2に、不燃ではワースト1がベスト2になりました。

森田 美津雄

(無党派)

児童虐待防止への対応および「子どもの権利条例」の制定について

問1 児童虐待のケースを分析し、課題として見えてきたものを問う。

答1 (学校教育課長) 保護者への支援充実を図るとともに、行政の福祉部門や学校等との結びつきを強化して、虐待の早期発見を促すこととします。

問2 「子どもの権利条例」の作成にあたり、子ども、市民、専門家に意見を求めるか。

ごみの現状と課題への取り組みについて

問 従前、ボックス置場になっていた場所に、常時ごみが捨ててあり近隣住民は苦慮している。この件に対し、市の対応を求め。

答 (環境共生部長) 対応の基本としては、土地の所有者が自己防衛していただくことが一番ですが、連絡があった場合はリサイクル推進課が相談に乗っています。

ごみの現状と課題への取り組みについて

江口 和雄

(市民クラブ)

「ごみゼロ社会をめざして」一ごみ改革の検証と今後の対応について

問1 ごみの減量実績とレベルはどうなっているか。

答1 (環境共生部長) 家庭系可燃・不燃ごみあわせて49・9%の減量。排出量は三多摩地域26市中、可燃ではワースト7がベスト2に、不燃ではワースト1がベスト2になりました。

森田 美津雄

(無党派)

児童虐待防止への対応および「子どもの権利条例」の制定について

問1 児童虐待のケースを分析し、課題として見えてきたものを問う。

答1 (学校教育課長) 保護者への支援充実を図るとともに、行政の福祉部門や学校等との結びつきを強化して、虐待の早期発見を促すこととします。

問2 「子どもの権利条例」の作成にあたり、子ども、市民、専門家に意見を求めるか。

プチ・コンサートを12月3日に開催

平成13年第4回定例会の初日に、市議会本会議場でプチ・コンサートを開催します。お誘い合わせてご来場ください。

【日時】 12月3日(月) 午前10時から

【演奏】 中 琴多美とトライアングル(写真)

【曲目】 ○箱根八里の半次郎

(予定) ○赤いハンカチ

○もみじ

○ダニューブ・ウエーブ

○津軽じょんがら節



哀愁をおびた大正琴の調べを

今定例会で議決した議案

市長提出議案

- 第54号 平成12年度日野市一般会計決算の認定【認定】
第55号 平成12年度日野市国民健康保険特別会計決算の認定【認定】
第56号 平成12年度日野市土地区画整理事業特別会計決算の認定【認定】
第57号 平成12年度日野市下水道事業特別会計決算の認定【認定】
第58号 平成12年度日野市受託水道事業特別会計決算の認定【認定】
第59号 平成12年度日野市老人保健特別会計決算の認定【認定】
第60号 平成12年度日野市介護保険特別会計決算の認定【認定】
第61号 平成12年度日野市立総合病院事業会計決算の認定【認定】
第62号 (仮称)日野市立総合体育館建設基金条例の制定【原案可決】
第63号 日野市市税条例の一部を改正する条例の制定【原案可決】
第64号 日野市地区広場設置条例の一部を改正する条例の制定【原案可決】
第65号 日野市中心身障害者(児)福祉手当支給条例の一部を改正する条例の制定【原案可決】
第66号 日野市立児童館条例の一部を改正する条例の制定【原案可決】
第67号 日野市遊び場条例の一部を改正する条例の制定【原案可決】
第68号 平成13年度日野市一般会計補正予算(第4号)【原案可決】

議員提出議案

- 第69号 平成13年度日野市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)【原案可決】
第70号 平成13年度日野市土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)【原案可決】
第71号 平成13年度日野市下水道事業特別会計補正予算(第1号)【原案可決】
第72号 平成13年度日野市老人保健特別会計補正予算(第1号)【原案可決】
第73号 平成13年度日野市介護保険特別会計補正予算(第1号)【原案可決】
第74号 平成13年度日野市受託水道事業特別会計補正予算(第1号)【原案可決】
第75号 地域インターネット基盤整備事業用備品の購入【原案可決】
第76号 人権擁護委員の推薦【同意】
日3・4・14号線橋梁(一番橋)上部工(その2)工事請負契約の締結【原案可決】
第10号 アメリカ合衆国における同時多発テロ行為を糾弾する決議【原案可決】
第11号 抜本的な地球温暖化防止対策の推進と京都議定書の早期批准・発効を求める意見書【原案可決】
第12号 狂牛病発生に対する情報公開と安全対策を国に求める意見書【原案可決】

請願・陳情の審査状況

今定例会では、請願・陳情7件が審査されました。

審査の状況は次のとおりです。

採択

◎公団住宅を公共住宅として存続させるよう求める意見書提出についての請願

【要旨】政府が発表した「特殊法人等の個別事業見直しの考え方」には、公団賃貸住宅の順次売却等の方針が示されています。今後の情勢から「公団住宅の売却」は容認できません。よって、請願趣旨を理解いただき、関係各方面への意見書提出を要望いたします。

◎葬祭場建設に反対する請

継続

【結論】全員一致の採択。

◎日野市立七生中学校相談学級にひきつづき不登校児の居場所の存続を望む請願

【要旨】①日野市として不登校児に対する人権の保障をする。②不登校児に対する学習権、校外学習の保障をする。③不登校児の居場所としての受け皿が整うまで、現在のまま七生中学校相談学級でひきつづき不登校児の受け入れを行う。以上3点を要望します。

【結論】全員一致の採択。

市議会の傍聴を

市議会の本会議や各委員会は、公開されています。どなたでも傍聴できますので、ぜひお出掛けください。

受付は、市役所6階の議会事務局になります。

○ — 点字版とテープ版市議会だより —
目の不自由な方のために、点字版とテープ版の市議会だよりを作成しています。お近くにご希望の方がいましたら、議会事務局までご連絡ください。

○ — 詳しい内容は会議録で —
市議会の本会議、常任委員会の審議内容は、会議録にまとめられています。本会議録は市内の図書館で、委員会録は市政図書室でご覧いただけます。



▲新鮮な地元野菜を求める方々で、開店直後から大賑わい(日野農産物直売所)

意見書・決議

今定例会では、次のとおり意見書、決議が可決されました。

■アメリカ合衆国における同時多発テロ行為を糾弾する決議
9月11日、ニューヨーク州の世界貿易センタービルなどが、大規模な同時多発テロに見舞われた。日野市議会は、これらテロ行為を厳しく糾弾するとともに犠牲になられた方々に深く哀悼の意を表するものである。同時に、このテロ行為に対しては、アメリカ合衆国ならびに同盟国が、国際法に基づいて冷静に対処されるよう強く求めるものである。以上、決議する。

■抜本的な地球温暖化防止対策の推進と京都議定書の早期批准・発効を求める意見書
日野市議会は、政府に対し、国内の地球温暖化防止対策を強力にすすめ、併せて、批准の準備を速やかに行って京都議定書を早急に批准し、京都議定書の2002年発効を実現するよう強く求めます。

【意見書提出先】 内閣総理大臣、総務大臣、外務大臣、経済産業大臣、国土交通大臣、環境大臣

■狂牛病発生に対する情報公開と安全対策を国に求める意見書

9月10日、日本で初めて狂牛病の疑いのある乳牛が千葉県で発見されました。よって、消費者が安心して、生活できるよう以下のことを国に要請します。1. 消費者に対する正確な情報提供、情報公開と徹底した迅速な安全対策を講ずること。2. 今後、飼料の履歴などが明確にわかるような管理体制を確立すること。

【意見書提出先】 内閣総理大臣、厚生労働大臣、経済産業大臣、農林水産大臣

■「医療制度改革」に反対する意見書

小泉内閣の「医療改革」が実行されれば、国民の9割以上が「3割負担」になり、深刻な不況が続く中でこの改革は、国民生活にとって深刻な影響を与えるものと言わざるを得ない。よって、政府に対し、こうした内容をもつ「医療改革」計画の再検討を求めるものである。

【意見書提出先】 内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣、衆議院議長、参議院議長

■公団住宅を公共住宅として存続させるよう求める意見書

日野市議会は、特殊法人等の個別事業見直しの際、居住者の生活実態を把握し、生活不安の起さない万全の措置が講じられるよう、次の事項について要望します。1. 公団住宅を公共住宅として存続させ、公団賃貸住宅の売却はおこなわないこと。

【意見書提出先】 内閣総理大臣、国土交通大臣、行政改革・規制改革担当大臣

編集後記

本枯らしの吹く季節となりました。皆さん、いかがお過ごしでしょうか。この秋も市内各地で

様々なイベントが行われました。秋の定番イベントと言えば、やはり運動会でしょうか。お子さんたちが元気に走り回る姿をビデオカメラなどに収めた親御さんも少なくないと思います。しかし、自愛を。